

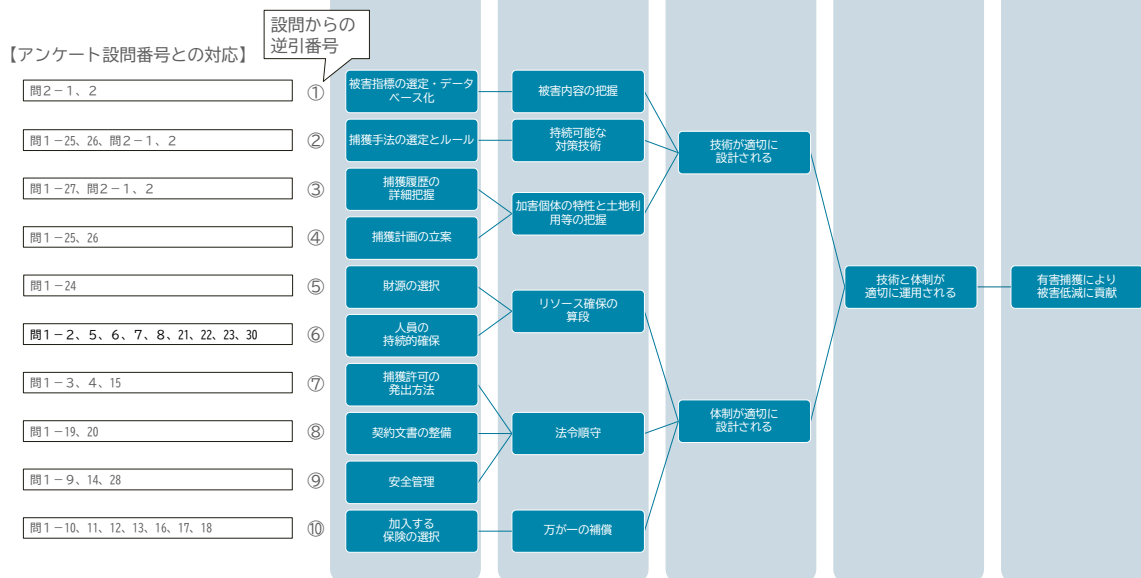
令和6年度野生鳥獣対策検討業務

有害鳥獣捕獲に関するアンケート結果報告書

アンケート調査概要

項目	内容
趣旨/目的	有害鳥獣捕獲体制の構築と適切な運用を検討するため、現状分析を目的として実施
アンケート実施期間	令和5年12月～令和6年2月（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県） 令和6年10～11月（奈良県）
調査対象	関西広域連合構成府県の市町村のうち有害捕獲を実施している209市町村（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県）
調査方法	各府県より各市町村へメール等により依頼
回答件数	133市町村
回収率	63.6% ※参考：H30実施アンケート回収率 67.8%

有害鳥獣捕獲体制構築に関する 現状分析（ロジックモデル）

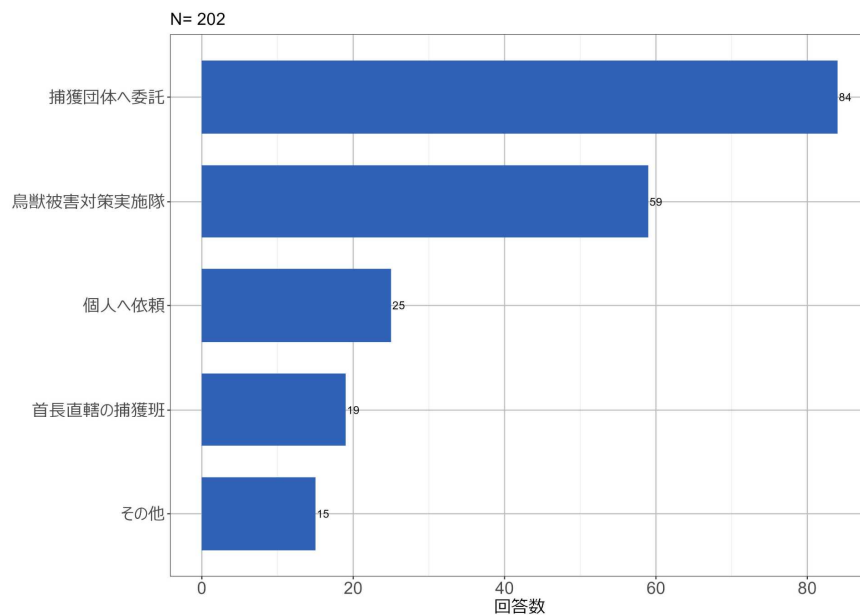


■項目Ⅰ 有害鳥獣捕獲の体制

問 1-1、1-2

有害鳥獣捕獲の体制

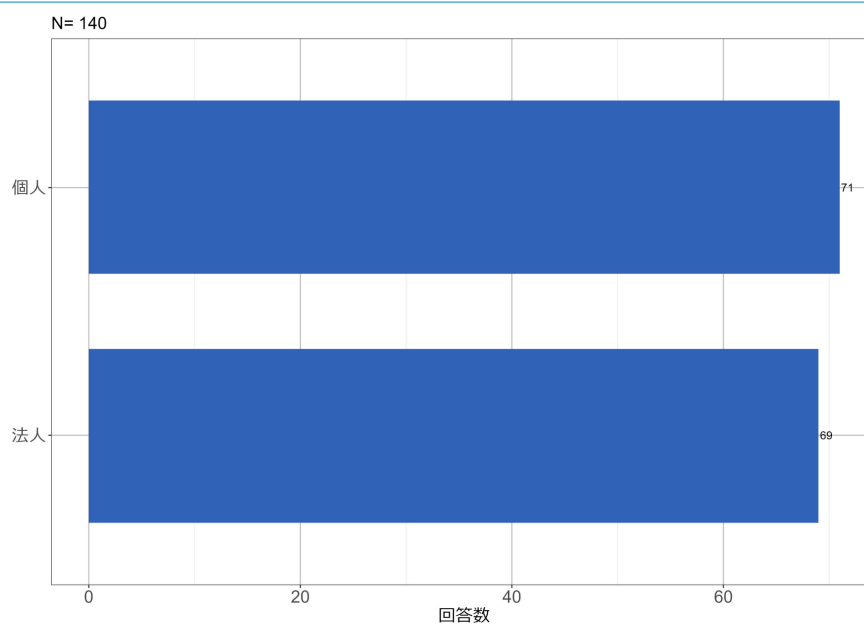
問1－2．現在の有害鳥獣捕獲の体制について、該当するものに☒を入れてください（複数選択可）。⑥



問 1-3、1-4

有害鳥獣捕獲の体制（許可対象）

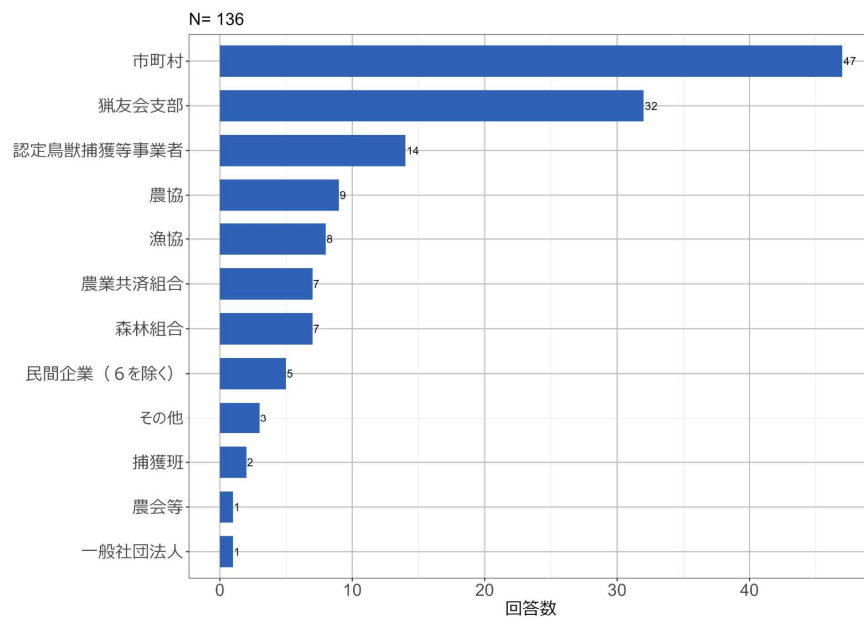
問1－3．有害鳥獣捕獲許可の対象者について、該当するものに☒を入れてください（複数選択可）。⑦



問 1-3、1-4

有害鳥獣捕獲の体制（許可対象詳細）

問1－4、問1－3で「法人」と回答した方は、許可対象としている法人を全て、該当するものに☒を入れてください（複数選択可）。🗒



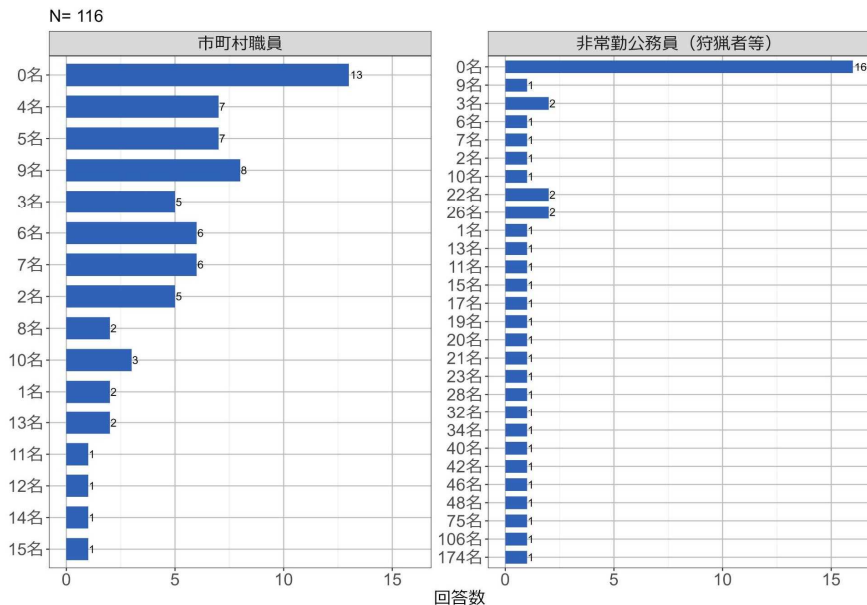
捕獲体制について一鳥獣被害対策実施隊一

■問1-5～1-13

問 1-5、1-6

捕獲体制（実施隊員数）

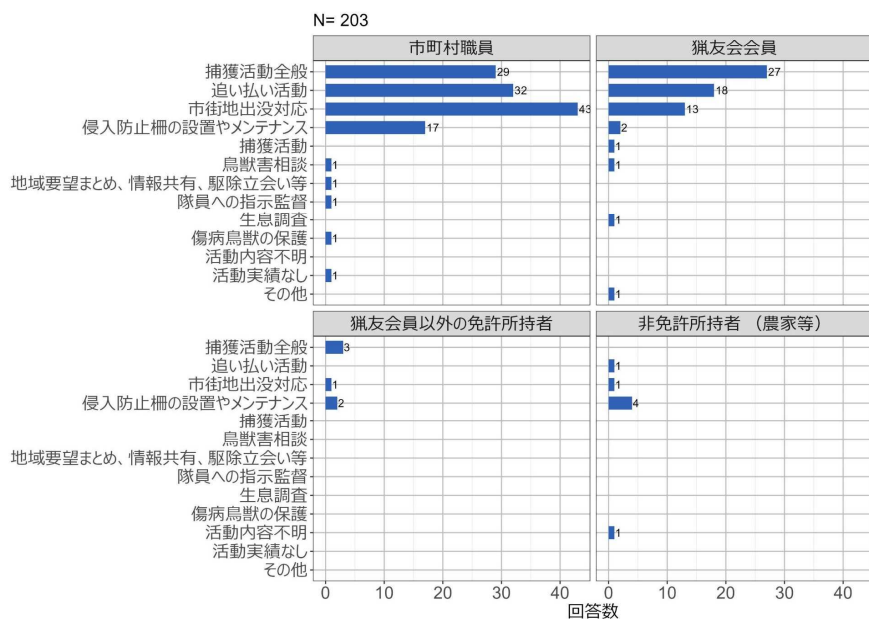
問 1－5．鳥獣被害対策実施隊の構成人数（実人数）を記入してください。⑥



問 1-5、1-6

捕獲体制（活動内容）

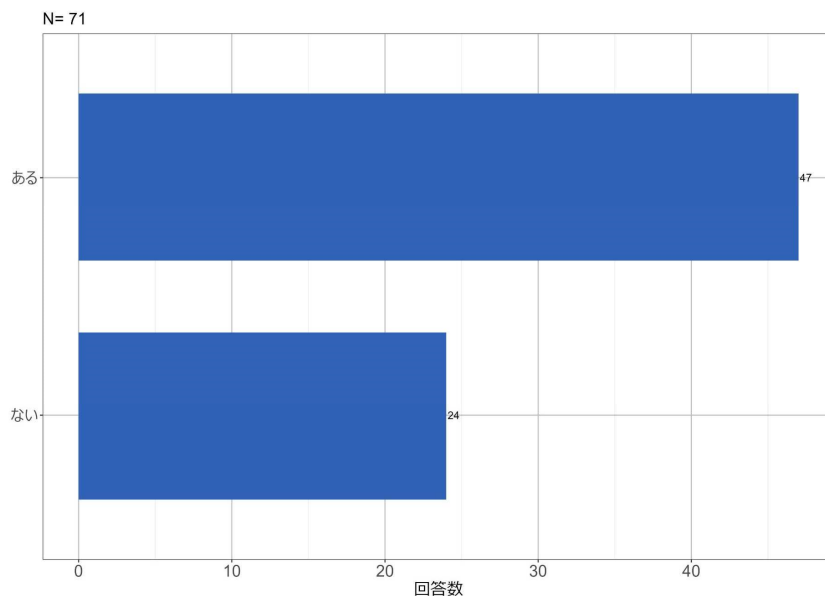
問 1－6．鳥獣被害対策実施隊の活動内容について、該当するものに☑を入れてください（複数選択可）。⑥



問 1-7、1-8

Q. 契約文書の整備はされているか（設置規定）。

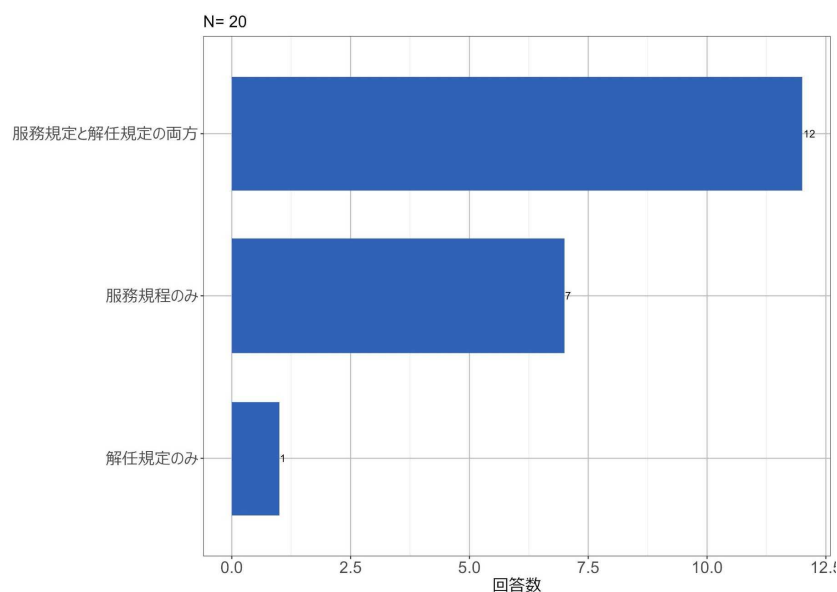
問1-7. 鳥獣被害対策実施隊に関する規程（設置要綱等）はありますか。また、「ある」と回答した方は、服務規程・解任規程を定めている場合には、該当する規程に☒を入れてください。⑥



問 1-7、1-8

Q. 契約文書の整備はされているか（服務・解任規程）。

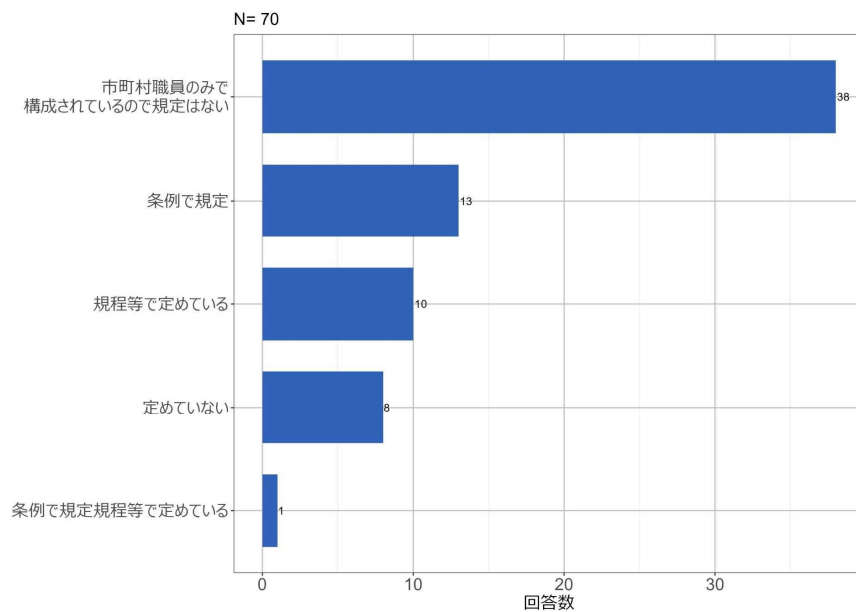
問1-7. 鳥獣被害対策実施隊に関する規程（設置要綱等）はありますか。また、「ある」と回答した方は、服務規程・解任規程を定めている場合には、該当する規程に☒を入れてください。⑥



問 1-7、1-8

Q. 契約文書の整備はされているか（報償規定）。

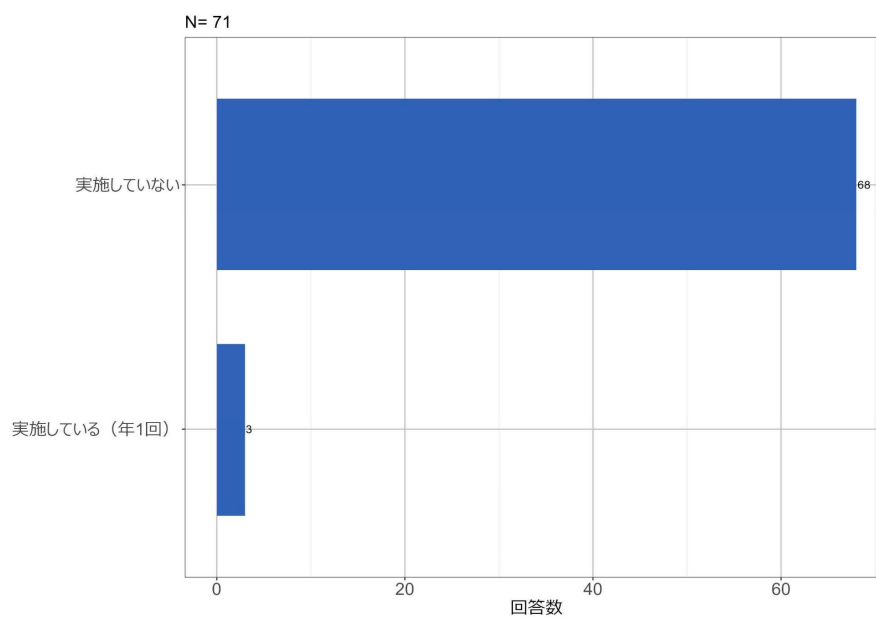
問1－8. 鳥獣被害対策実施隊員への報酬等の規定はどのように定めていますか。該当するものに☒を入れてください。⑥



問 1-9

Q. 安全管理は適切か（講習会）。

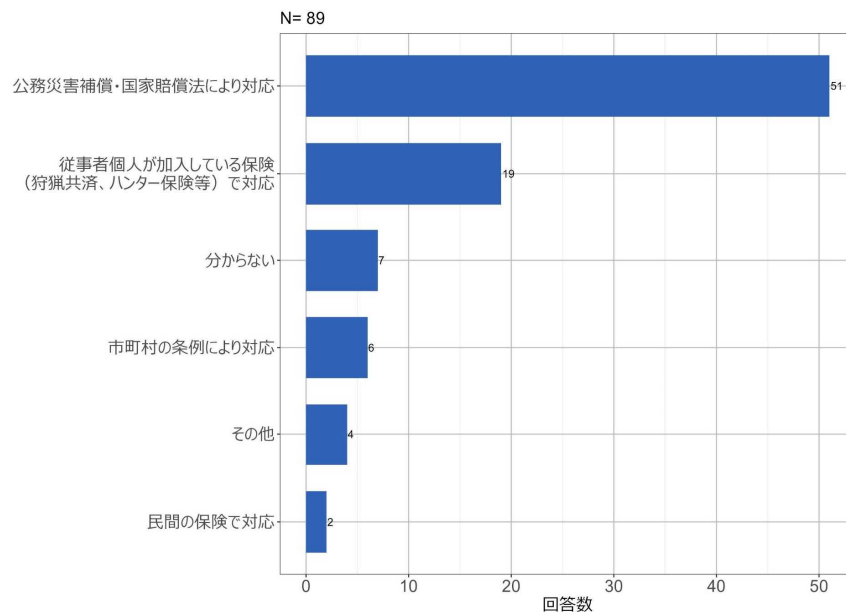
問1－9. 安全管理講習会を実施していますか。実施している場合は、その内容について教えてください。⑨



問 1-10、1-11、1-12、1-13

Q. 加入する保険の選択は適切か（自損）。

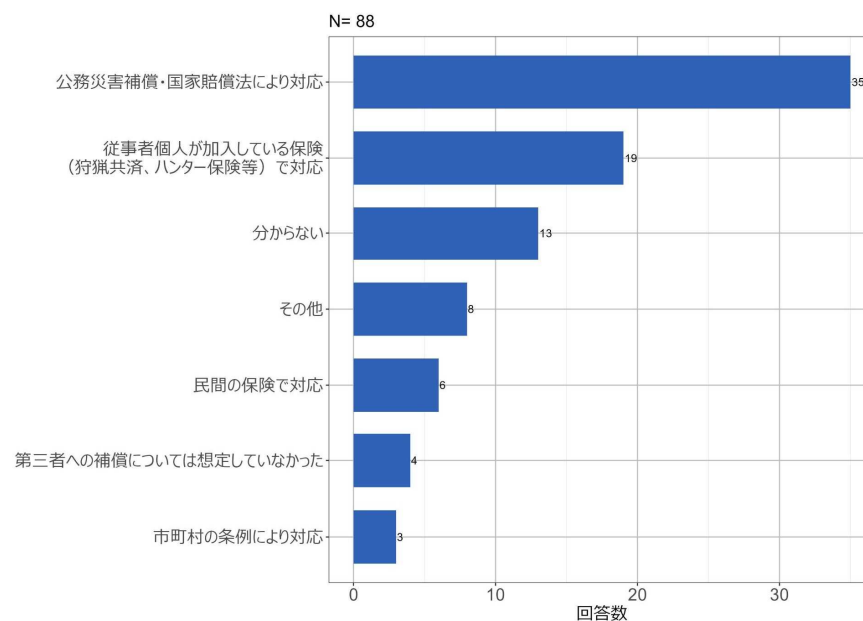
問 1-10. 事故等により鳥獣被害対策実施隊員自らが負傷等した場合についての補償については、どのように行いますか。10



問 1-10、1-11、1-12、1-13

Q. 加入する保険の選択は適切か（他損）。

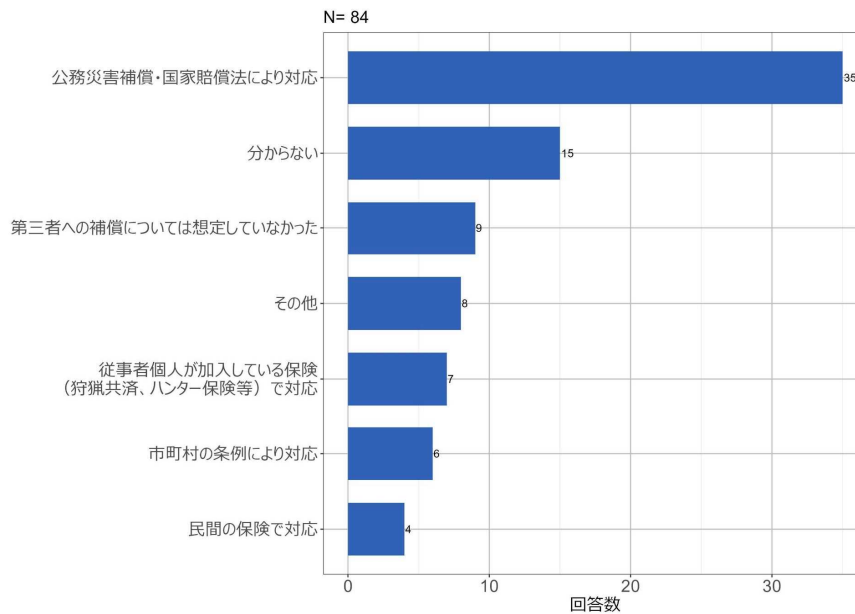
問 1-11. 事故等により鳥獣被害対策実施隊員が第三者への損害賠償補償責任を負った場合は、どのように対応しますか（複数選択可）。10



問 1-10、1-11、1-12、1-13

Q. 加入する保険の選択は適切か（自治体）。

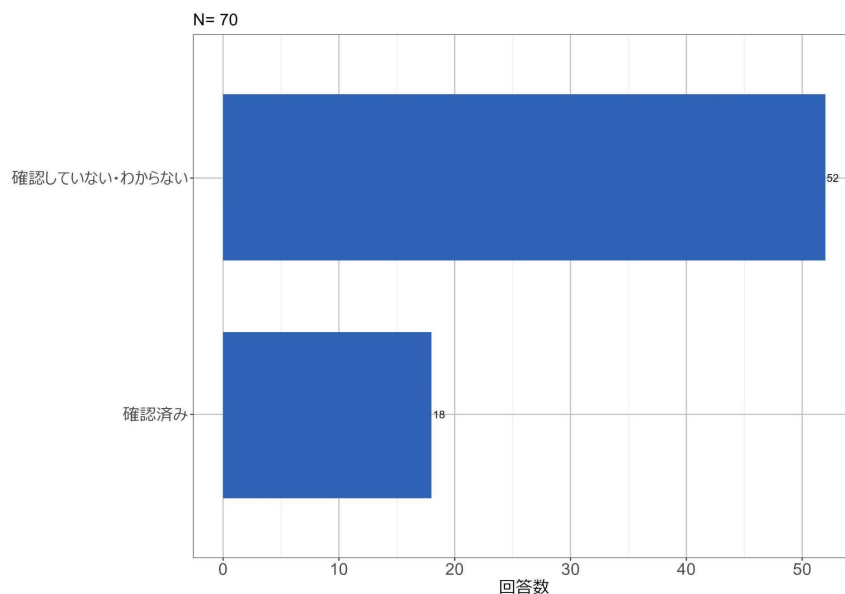
問 1-12. 事故等により市町村が第三者への損害賠償補償責任を負った場合は、どのように対応しますか（複数選択可）。¹⁰



問 1-10、1-11、1-12、1-13

Q. 加入する保険の選択は適切か（補償内容の確認）。

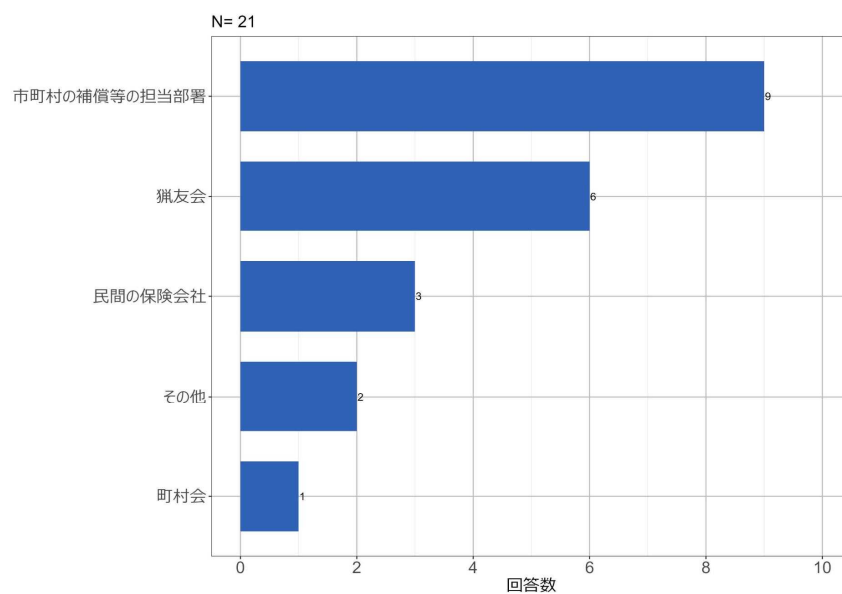
問 1-13. 鳥獣被害対策実施隊が実施している捕獲活動内容が、現在加入している保険等で第三者への補償の対象となることの確認は取れていますか。確認した方は、確認した相手方と結果を教えてください。¹⁰



問 1-10、1-11、1-12、1-13

Q. 加入する保険の選択は適切か（確認先）。

問1-13. 鳥獣被害対策実施隊が実施している捕獲活動内容が、現在加入している保険等で第三者への補償の対象となることの確認は取れていますか。確認した方は、確認した相手方と結果を教えてください。⑩



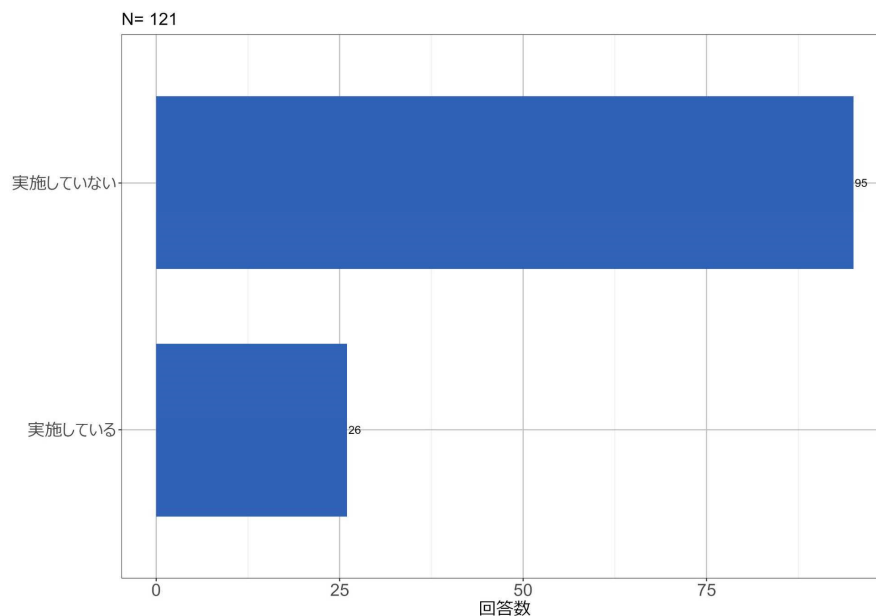
捕獲体制についてー鳥獣被害対策実施隊以外ー

■問1-14～1-20

問 1-14

Q. 安全管理は適切か（講習会）。

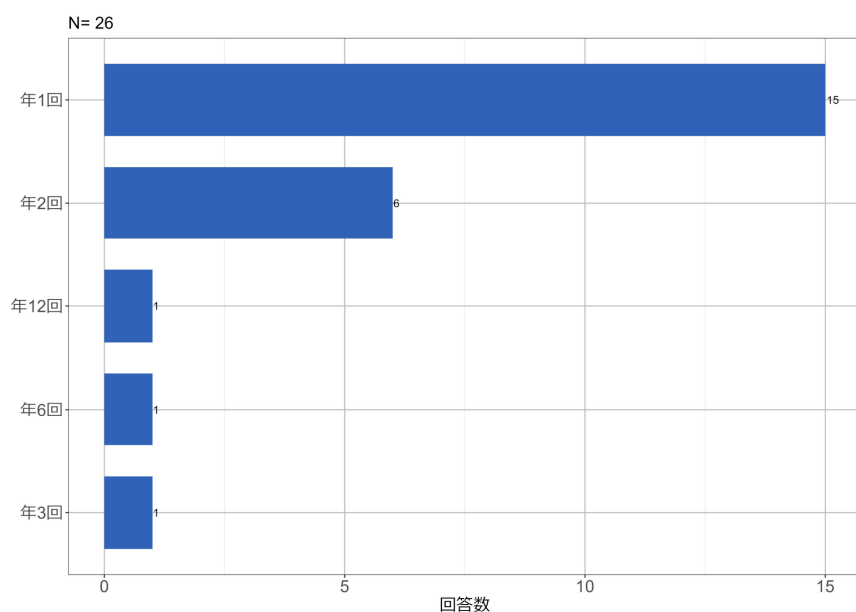
問1-14. 安全管理講習会を実施していますか。実施している場合は、実施主体、実施内容について教えてください。⑨



問 1-14

Q. 安全管理は適切か（実施回数）。

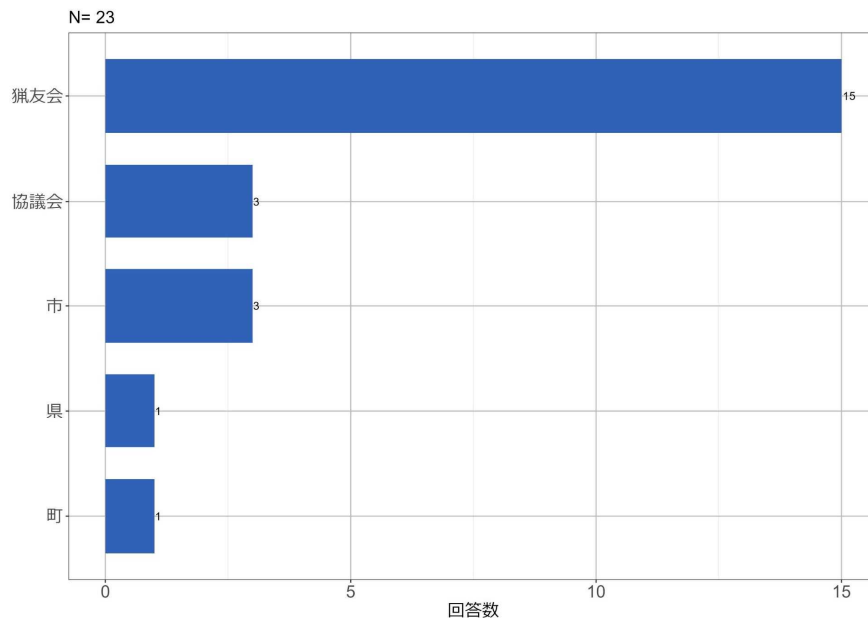
問1-14. 安全管理講習会を実施していますか。実施している場合は、実施主体、実施内容について教えてください。⑨



問 1-14

Q. 安全管理は適切か（実施主体）。

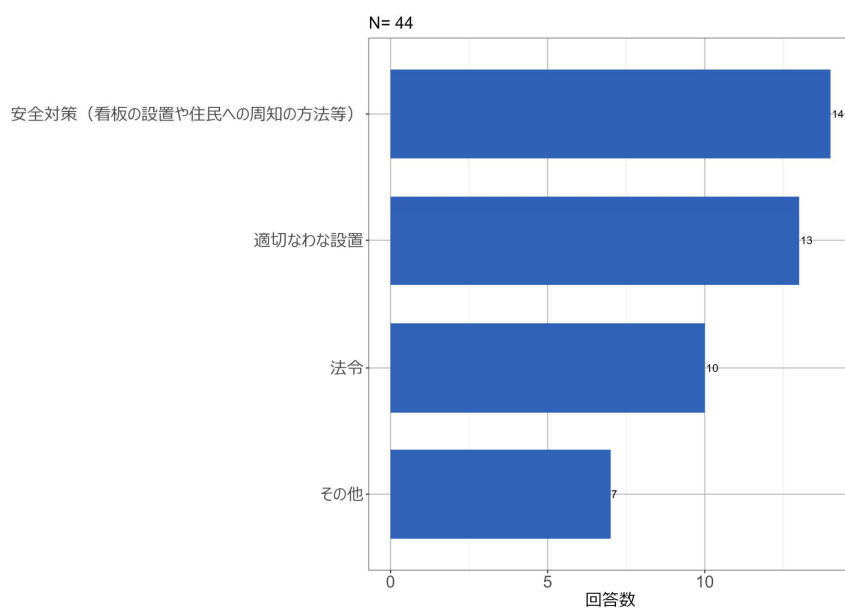
問1-14. 安全管理講習会を実施していますか。実施している場合は、実施主体、実施内容について教えてください。⑨



問 1-14

Q. 安全管理は適切か（実施内容）。

問1-14. 安全管理講習会を実施していますか。実施している場合は、その内容について教えてください。⑨



問 1-15

Q. 捕獲許可の発出方法は。

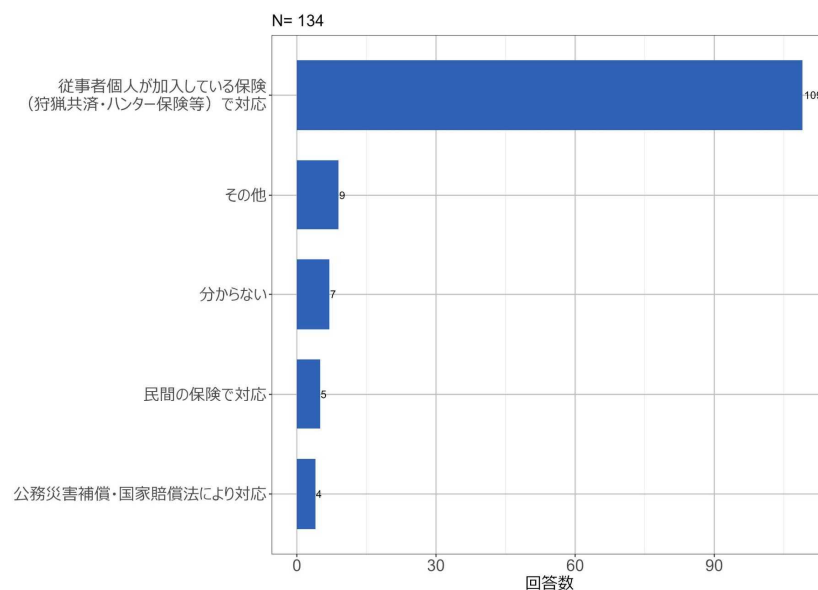
問1-15. 市町村全体のニホンジカ及びイノシシの有害鳥獣捕獲に係る捕獲許可証及び捕獲従事者証の発行枚数（令和4年度実績）を教えてください。⑦

	平均	標準偏差	最小	最大	N
ニホンジカ					
捕獲従事者証	230	690	0	5118	7
捕獲許可証	65	107	0	964	7
イノシシ					
捕獲従事者証	229	691	0	5118	7
捕獲許可証	66	105	0	964	7

問 1-16、1-17、1-18

Q. 加入する保険の選択は適切か（自損）。

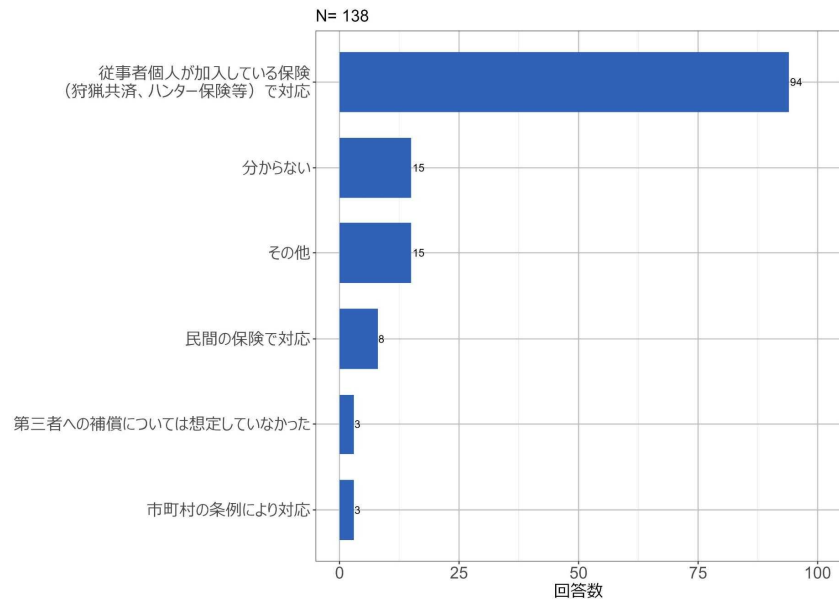
問1-16. 事故等により従事者自らが負傷等した場合についての補償については、どのように行いますか。またその具体を教えてください。別途保険に加入している場合はその理由を教えてください。⑩



問 1-16、1-17、1-18

Q. 加入する保険の選択は適切か（他損）。

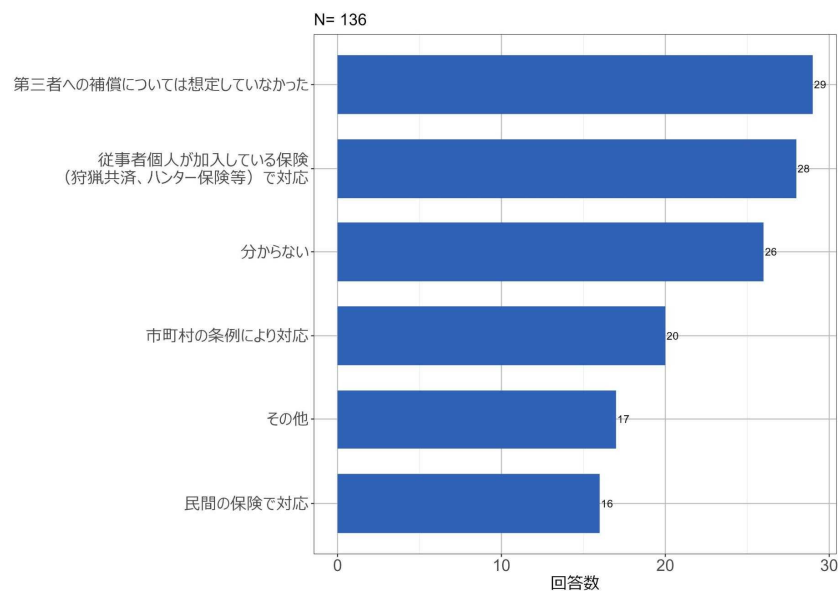
問1-17. 事故等により従事者個人が第三者への損害賠償補償責任を負った場合については、どのように行いますか（複数選択可）。またその具体を教えてください。別途保険に加入している場合は、その理由を教えてください。¹⁰



問 1-16、1-17、1-18

Q. 加入する保険の選択は適切か（自治体）。

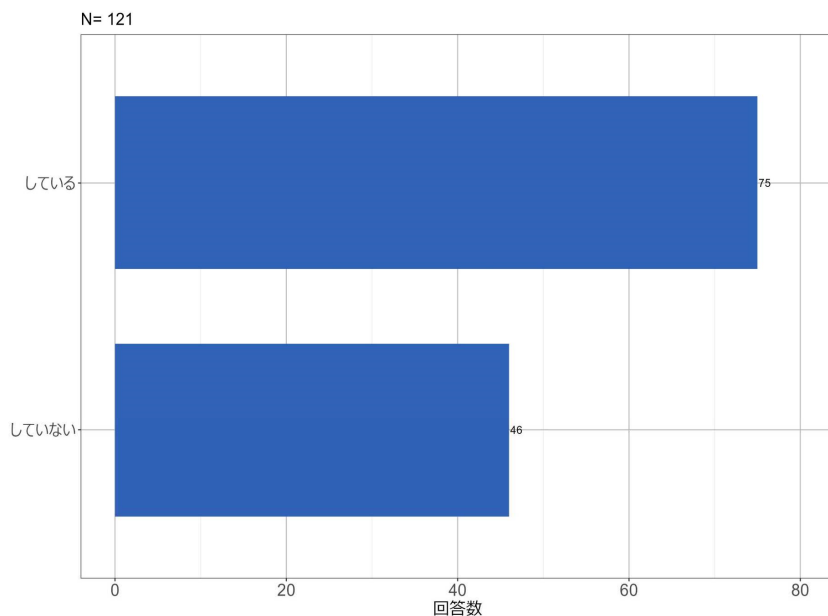
問1-18. 事故等により市町村が第三者への損害賠償補償責任を負った場合については、どのように行いますか。またその具体を教えてください。別途保険に加入している場合は、その理由を教えてください（複数選択可）。¹⁰



問 1-19、1-20

Q. 契約文書の整備はされているか（契約書類）。

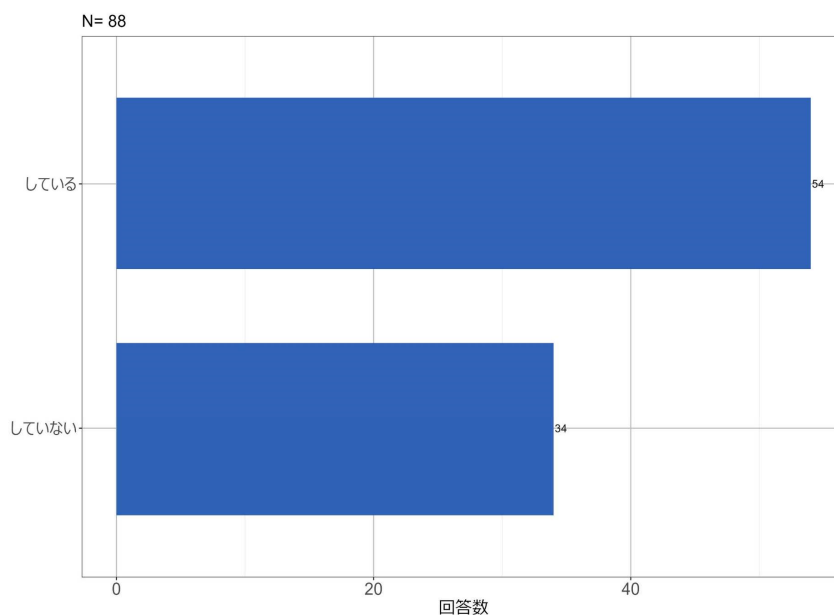
問1-19. 捕獲団体へ捕獲業務を委託契約等で依頼するにあたり、契約書や請書等を作成していますか。⑧



問 1-19、1-20

Q. 契約文書の整備はされているか（仕様書）。

問1-20. 問1-19で1（している）を選択した場合は、捕獲団体へ捕獲業務を委託するにあたり、仕様書を作成しているかどうか教えてください。⑧



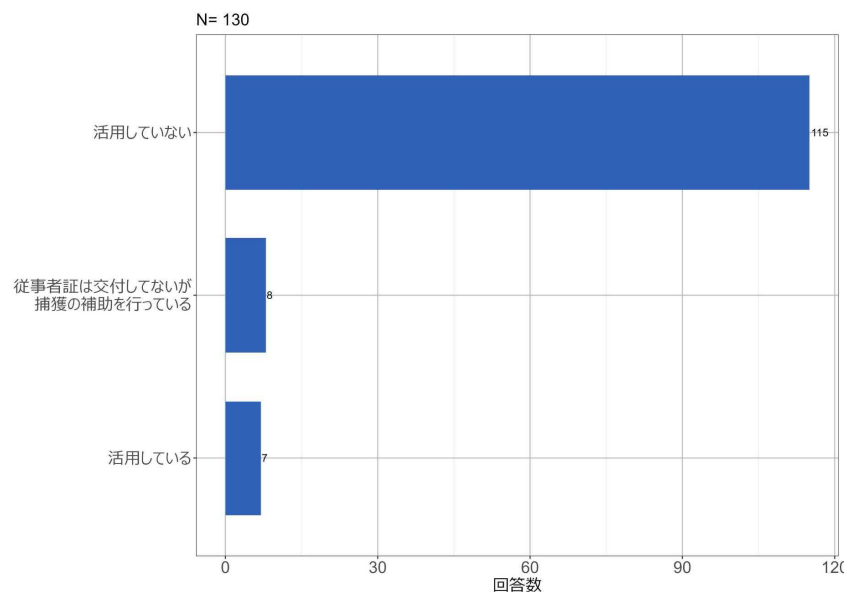
その他体制について ー共通ー

■問1-21～1-30

問 1-21、1-22、1-23、1-30

Q. 人員の持続的確保に係る取組状況は（補助者制度）。

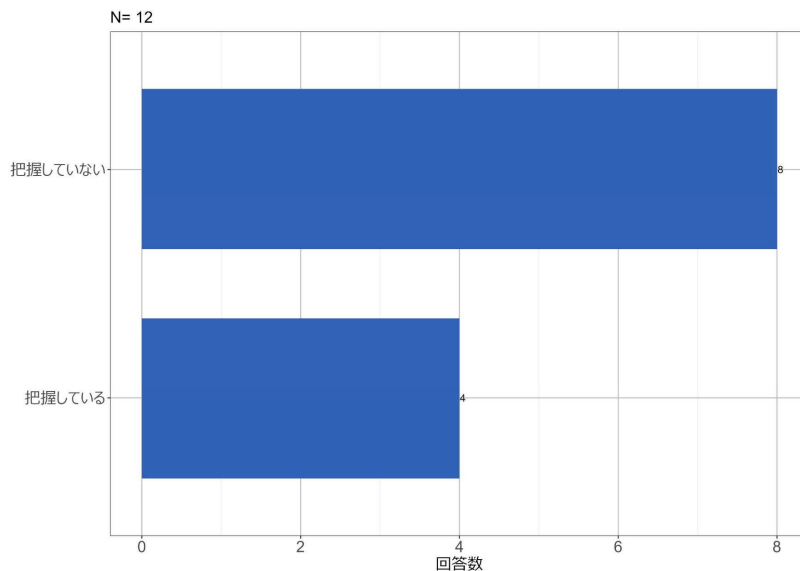
問1-21. 有害鳥獣捕獲において、平成23年度の「鳥獣の保護を図るための事業実施するための基本的な指針」改正により制度化された「補助者」（法人に対する許可で、従事者証を交付され、従事者として参加している場合）を活用していますか。📍



問 1-21、1-22、1-23、1-30

Q. 人員の持続的確保に係る取組状況は（補助者数）。

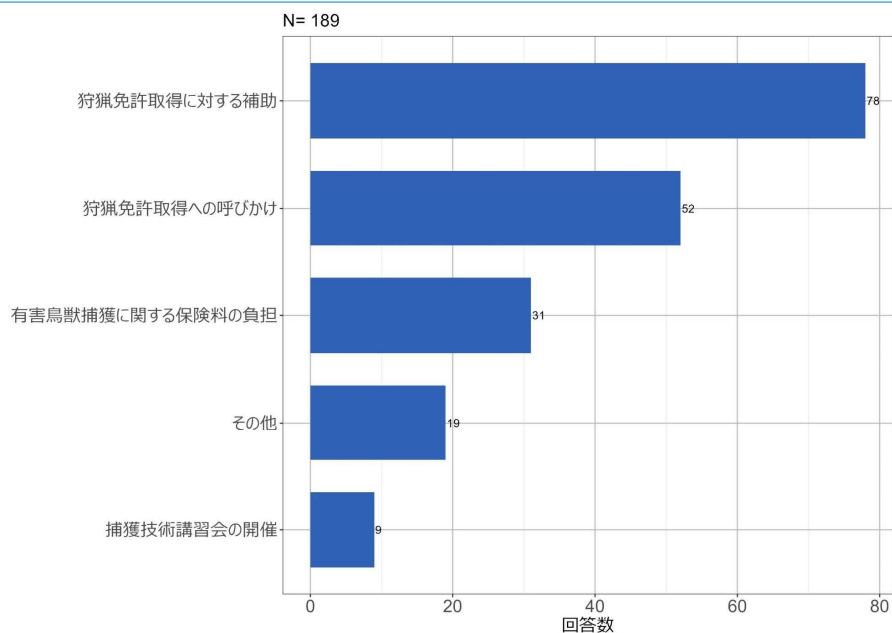
問1-22、問1-21で「活用している」「捕獲の補助を行っている」と回答した方。「補助者」又は補助として従事している者の人数（実人数）を把握していれば教えてください（令和4年度実績）。もし鳥獣種によって異なる場合は、ニホンジカ及びイノシシの捕獲を対象とした補助者の人数としてください。また、「補助者」とそれ以外の補助、両方ともある場合は、それぞれの人数を回答してください。⑥



問 1-21、1-22、1-23、1-30

Q. 人員の持続的確保に係る取組状況は（対策内容）。

問1-30. 捕獲従事者の持続的な確保のためにしている対策があれば教えてください。（複数選択可）⑥

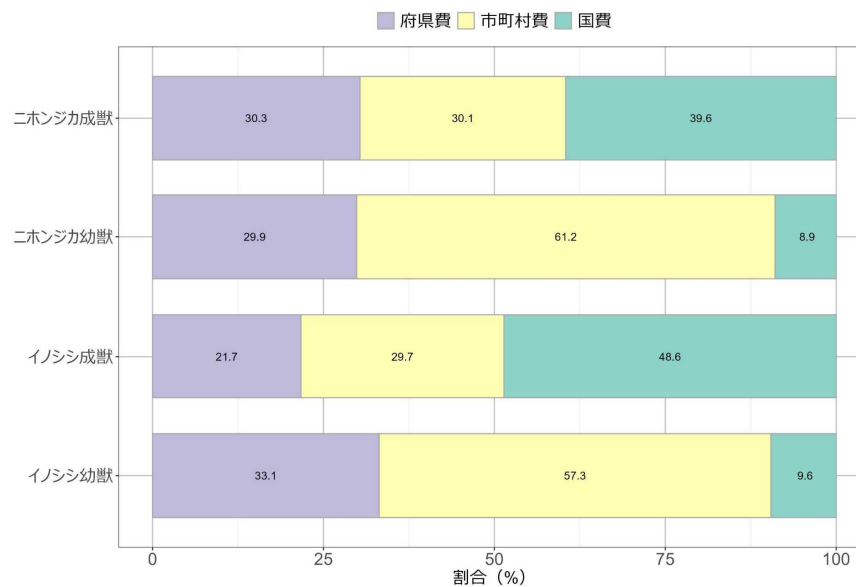


問 1-24

Q. 財源の選択の状況は（獣種・予算）。

問 1-24. 1 頭当たりの捕獲報償費はいくらですか。支払額、財源内訳、捕獲個体の確認方法を記入してください。⑤

N = 1155

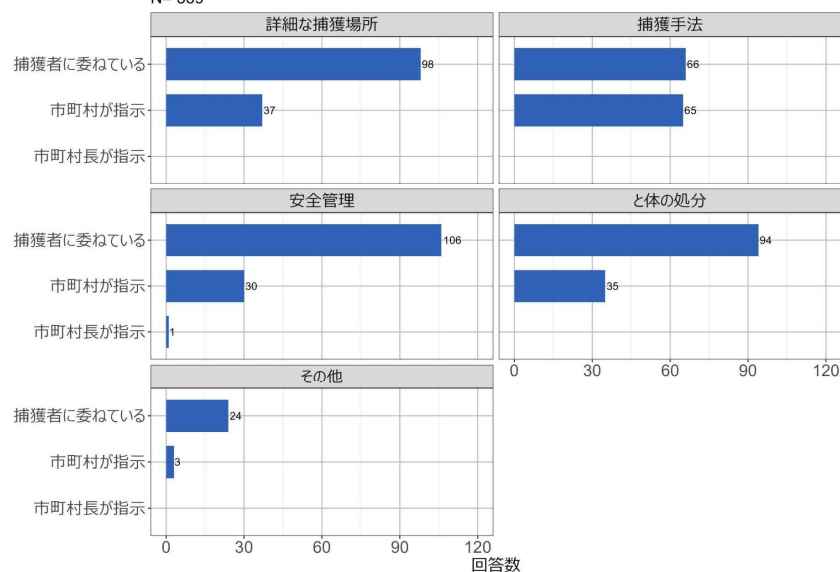


問 1-25、1-26

Q. 捕獲手法の選定とルールは確立されているか。

問 1-25. 有害鳥獣捕獲の実施にあたり、どこまで指示していますか。また捕獲のルール等を定めていますか。該当する項目に☑を記入し、その具体を記入してください。②④

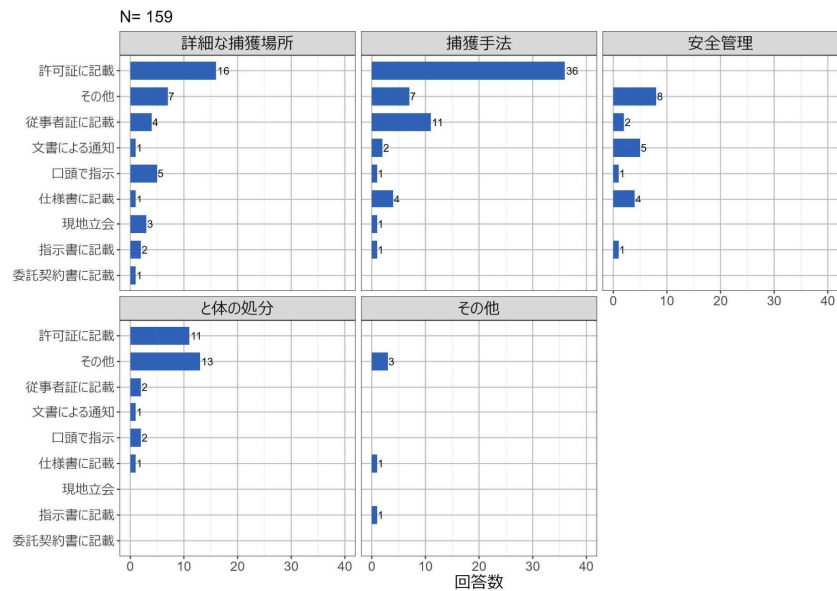
N= 559



問 1-25、1-26

Q. 捕獲手法の選定とルールは確立されているか（指示方法）。

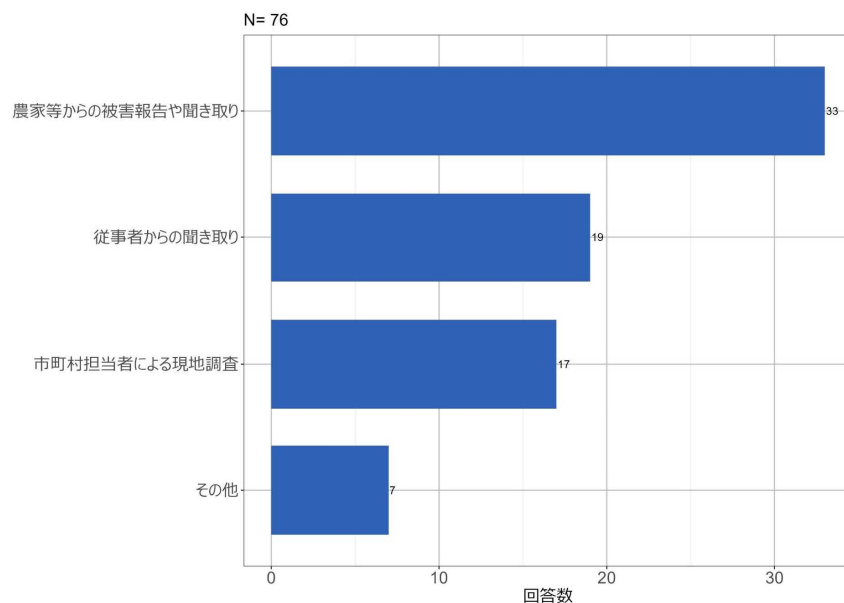
問1-25、有害鳥獣捕獲の実施にあたり、どこまで指示していますか。また捕獲のルール等を定めていますか。該当する項目に☑を記入し、その具体を記入してください。②④



問 1-25、1-26

Q. 捕獲手法の選定とルールは確立されているか（指示根拠）。

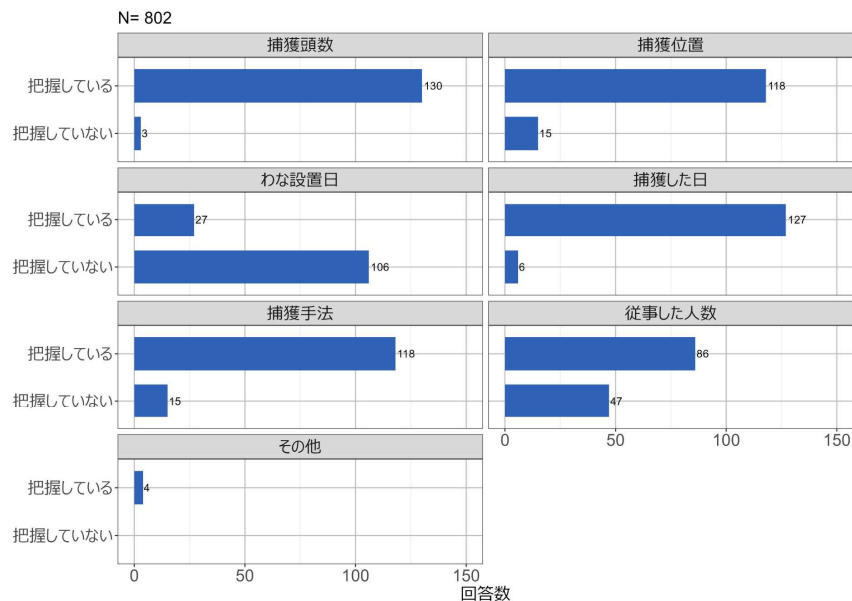
問1-26、問1-25の①（詳細な捕獲場所）で「市町村が指示」を選択している場合、それはどのような根拠に基づいていますか（複数選択可）。②④



問 1-27、1-28

Q. 捕獲履歴の詳細把握はされているか。

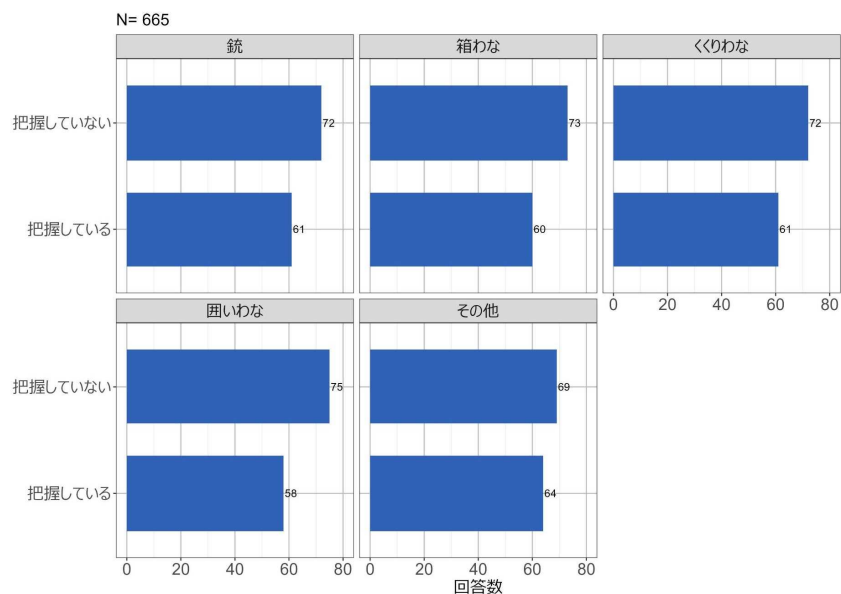
問1-27. 捕獲活動状況（捕獲頭数、捕獲位置、捕獲日等）は、把握していますか。把握している情報について、該当するものに☑を記入し、把握方法を記入してください。③



問 1-27、1-28

Q. 捕獲履歴の詳細把握はされているか（事故）。

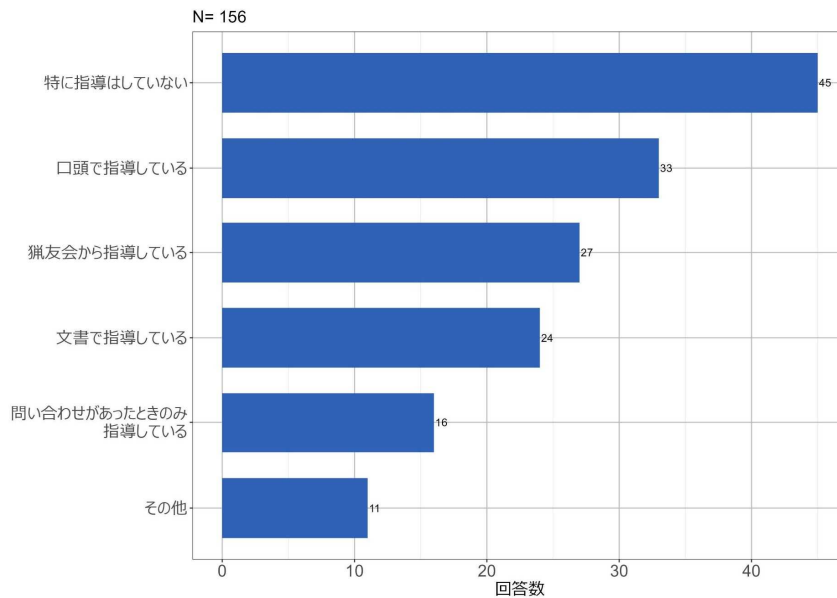
問1-28. 過去10年間（平成25年度～令和4年度）に、有害鳥獣捕獲において事故（自損、他損）の発生があれば、発生件数を記入してください。把握していない場合は、「把握していない」欄に☑を入れてください。⑨



問 1-29

Q. 法令順守に係る取組状況は（確定申告）。

問1-29. 市町村から従事者に支払った捕獲報償費について、適切に確定申告をするように指導していますか。該当するものに☑を入れてください。（複数選択可）

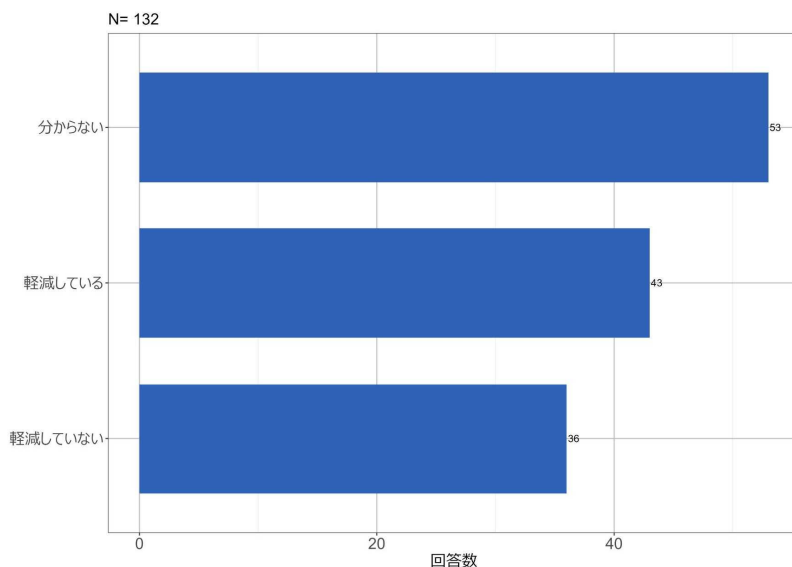


■項目Ⅱ 有害鳥獣捕獲による効果、課題等

問 2-1、2-2

Q. これまで実施してきた有害鳥獣捕獲によって、鳥獣による被害が軽減したと感じているか。

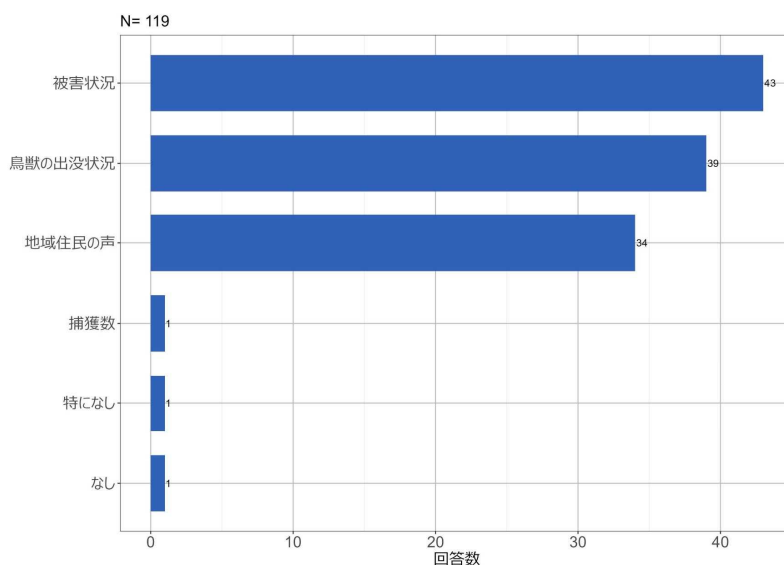
問2-1. これまで実施してきた有害鳥獣捕獲によって、鳥獣による被害が軽減したと感じていますか。該当する番号に☑を記入し、その理由を教えてください。①②③



問 2-1、2-2

Q. これまで実施してきた有害鳥獣捕獲によって、鳥獣による被害が軽減したと感じているか（根拠）。

問2-2. 問2-1の他に、これまでの有害鳥獣捕獲が担当者として効果を感じていることがあれば、該当する項目に☑記入し、詳細を教えてください。該当する項目がなければ、欄を追加し、記入してください。①②③



問 2-3

Q. 有害鳥獣捕獲の実施にあたって、どのような課題があると感じているか。

問2-3. 有害鳥獣捕獲の実施にあたって、どのような課題があると感じていますか。該当する欄に☑を記入し（複数選択可）、詳細について回答してください。該当する項目がなければ、欄を追加し、記入してください。

